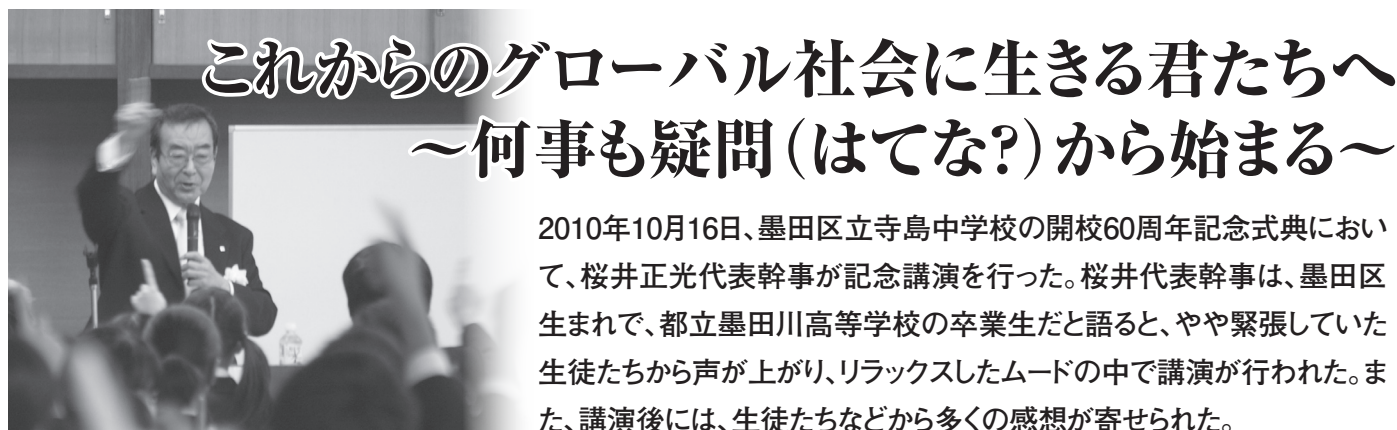




これからのグローバル社会に生きる君たちへ ～何事も疑問(はてな?)から始まる～

2010年10月16日、墨田区立寺島中学校の開校60周年記念式典において、桜井正光代表幹事が記念講演を行った。桜井代表幹事は、墨田区生まれで、都立墨田川高等学校の卒業生だと語ると、やや緊張していた生徒たちから声が上がリ、リラックスしたムードの中で講演が行われた。また、講演後には、生徒たちなどから多くの感想が寄せられた。

働く(仕事)ということ

働くとはどういうことでしょうか？それは、「他人(お客さま)の役に立つことをする」ことです。

仕事では、お役立ちの量に応じて報酬をもらえます。しかし、報酬を多く得れば、必ずしもその分仕事が面白くなるわけではありません。心から仕事が面白いと思えるのは、「達成感」を得たときです。自分たちの仕事が本当にお客さまに喜んでもらえたときにこそ、達成感は得られるもので、これこそが仕事の本質だと思います。

グローバル時代に生きる

グローバル時代とは、人、モノ、お金、そして技術や情報などのすべてが国境を越えて自由に行き来する時代のことです。これから、皆さんが活躍する社会では、地球規模での競争や協力、また環境保全などの難問があるでしょう。

グローバル時代で大切なことは、自分たちの常識にとらわれず、さまざまな人の考えやモノの見方を知ることです。日本の常識が、世界の非常識になることもあるのです。

私の英国での経験ですが、当時の日本人は仕事人間ばかりでした。現地の英国人から見ると、日本人が家庭やプライベートを犠牲にして休みもなく働くのはアンフェア(不公平)だと言うのです。こうしたことも含めて、日本では気付かなかったことがたくさんありました。もちろん外

国のやり方をすべて受け入れるべきだということではありません。背景となる歴史や伝統、文化が違うのですから、そのまま取り入れようとしても無理が生じます。しかし、グローバル時代に生きていくためには、まずお互いの違いを発見し、認め合う姿勢が大切なのです。

学ぶことの大切さ

皆さんはどう学べばいいのか？それは、常に自分の身の回りで起こる事を疑問に思い、その解決方法を探ることです。学校だけが学びの場ではありません。いつでもどこでも好奇心や疑問に思う心こそが“学び”の生みの親なのです。

また、解決能力を養うためには、モノの仕組みや構造に興味を持ち、良い意味で“理屈っぽく”なってください。きっと社会に出た時に役に立つ力が付くでしょう。

皆さんへのお願い

皆さんには早く自分の夢を見つけたいと思います。夢を見つけたら、それを実現するために何をしなければいけないかという目標が見えてきます。そして、「毎日、目標に向かって努力する自分をほめてあげる」ことが大切です。人間は、悪い部分やできないことに目が行く傾向があります。しかし、目標に対して3割できたならば、7割できなかったことを責めるのではなく、3割できたことをほめてあげましょう。毎日の自分の努力を確認し、それらを積み

上げて、将来の夢をつかんでください。

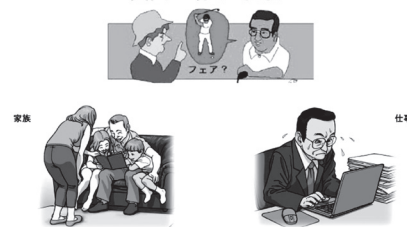
「新入社員」へ伝えていること

入社式での私のあいさつ

- 昨日までと今日からの違いは、「学ぶ人」から「仕事をする人」へ変わる
- 「仕事」とは「他人(お客様)の役に立つことをする」と、そしてお役立ちの量に応じた「報酬を得る」こと
- 報酬の大きさは「他人(お客様)が決める」

それって、フェアか？

英国工場での経験 I



私の信条

「まさに知るべし、
このところこれすなわち道場なり」

(法華経神力品より)



皆さんへのお願い

毎日まいにち自分を褒めてやろう！
(打率3割で十分)



生徒・教員・保護者の感想

1 年生

■「会社で働いていて“楽しい”と思えるのは、何かを達成したとき」。この言葉は将来、私の役に立ってくれるのではないかなと思いました。

■私は将来、海外で仕事をしたいと思っているのですが、語学だけでなく、現地の文化や常識を学んだ方がいいということが分かりました。

■今は中国など他国との問題や、不景気などが騒がれていますが、僕たちが大人になった時には、がんばって、今以上に日本が世界に認められてもらえるような、そんな国にしたいです。

■相手のことを考え、そして行動や発言をするということの大切さが深く伝わってきました。私はこれから大人になり、社会に出て仕事をします。どんなときでも相手のことを思うということは基本的なことですが、人生すべてにおいて大切なことだと思いました。

2 年生

■これからの将来・進路などについてあらためて考えることができました。やりたいことをもっと一生懸命見つけてみようと思いました。

■私はついこの間、英検を受験しました。ただ高校受験に有利になるという理由のみで受験しましたが、他の国の文化・常識を学ぶのに役立つと思い、英語の学習をもう少し頑張ってみようかなと思いました。

■考え方や物事の見方は一つだけではない。自分も一つの物事の見方だけではなく、他の人の考え方も考えてみたら面白いのではないかなと思いました。

■日本の常識は世界の非常識。これは私たち生徒と生徒の間でもあるのではないのでしょうか。私の当たり前だと思うことが、友達にしてみれば当たり前ではない。お互いを理解することを、これから深めていきたいです。

■自分をほめることによって自分にプラスになるなら、これからやっていこうかなと思いました。



3 年生

■グローバル社会に通用する力を身に付けるにあたり、何事にも疑問を持って、理解しようと追求することが大事なだろうと考えました。それはきっと社会だけでなく、私たちの受験にも大きくかわってくるでしょう。このような考え方を持って日々の勉強に励むことは、自分の知識を深める方法になると思いました。

■最近、外国で働くということに少し興味を持っています。なぜなら日本から出ることで、日本とは違う文化に触れ合うことができるからです。いろいろな文化を見て、自分の中の視野を広げたいと思っています。

■今まで私は働くというのは、楽しいことではないと思っていました。でも達成感ややりがいを感じられれば、楽しく仕事ができることが分かりました。

■仕事は人のためになるように努めることというお話を聞いて、そんな仕事をしたいなと思いました。私は将来、中学校の音楽の教師になりたいと思っています。今日、お話を聞いて、なりたいという意志がもっと深くなりました。

教員・保護者

■「学校の常識は社会の非常識」——多くの方面から物事を見つめられる広い知識や考え方を持てる人間に育てるためにはどうしたよいのかを常に考えながら、毎日の教育活動に励みたいと思います。

■自分の意識の持ち方を変える、自分とは異なる意見を受け止める。子どもたちが大人に成長する上でも、意識改革は大切だと考えました。

■講演の仕方にも深く感銘を受けました。日ごろ中学生を相手に話をする職業に従事しているため、できるだけ「難しいことをやさしく」話すように心掛けていますが、講演のようにそれを「深く、愉快地に、そして真面目に」伝えられるようになりたいと思います。

■寺島中学校の生徒たちは幸せだと思いました。“明日”が見えない今の大学生たちにも聞かせてあげたいお話でした。

